

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

給与計算業務のプロフェッショナルとして、専門性・安全性・確実性・効率性を追求し、企業社会の基盤を担うソフトインフラとしての使命を全うする。

売上収益
117億円

営業利益
24億円

EBITDA
36億円

② 中長期の経営戦略

1. 中期経営計画の実行

2025年3月期を最終年度とする中期経営計画に基づき、継続的な企業価値向上を目指す。

3. 人材採用・育成強化

全国センターでの体制整備、多様な採用チャネル活用、教育・研修充実で優秀人材の確保と定着を促進。

2. 新基幹システム(P3)の展開

クラウドサービス進展に対応し、P3の機能強化と旧基幹システムの移行を継続し、品質向上と効率化を実現。

4. 新規顧客層の開拓

大規模企業に加え、従業員数100～1,000人程度の中小規模企業(SMB)向けにBPaaS 1.0を展開。

③ 対処すべき課題

① クラウド対応と品質維持

- ・ P3への移行と旧システムSEP2000からの切り替え推進
- ・ 継続的な業務効率化と顧客満足度向上の両立

② 人材確保と体制構築

- ・ 給与計算処理実績人数増加に対応する採用・育成
- ・ 住民税改定・年末調整時期の業務集中への対応
- ・ 優秀社員の流出防止と働きがい環境の整備

③ 事業拡大と市場拡大

- ・ 中小規模企業(SMB)向けサービスの確立と展開
- ・ 給与デジタルマネー払い領域へのオンデマンドペイ展開
- ・ 新基幹システム定着による中規模企業対応

面接で使えるポイント

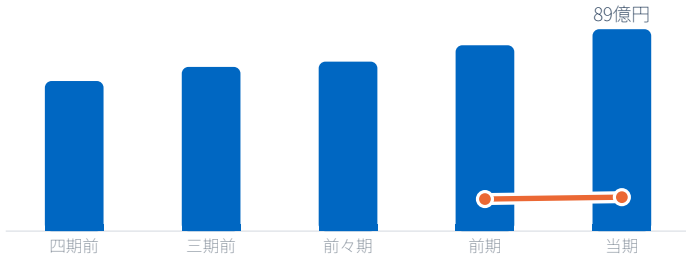
- ・ 日本の給与計算のスタンダード化を目指し、クラウド時代に最適な新基幹システム(P3)で事業成長を加速。
- ・ 2025年3月期に売上117億円、営業利益24億円を目指す中期経営計画で、大規模企業から中小規模企業へと顧客層を拡大。
- ・ 働き方改革で企業の人事部門のアウトソーシング需要が活発化する中、BPaaS 1.0で市場機会をキャッチする。

株式会社ペイロール

サービス業 | 非上場（有報提出会社） | 決算期 3月末日 …

EDINETコード E35482

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社及び連結子会社 1 社（株式会社H Rテクノロジーソリューションズ）から構成されて

主力事業・セグメント

- ・ サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率16.8%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
89億円

営業利益率
16.8%

財務健康度
68点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 39.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
457万円

平均年齢
34.5歳

平均勤続
3.8年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

株式会社ペイロール 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

